

定額減税補足給付金（調整給付）を給付します

閩税務課市民税室（☎75-8928）



令和6年度の定額減税において、控除しきれないと見込まれる人に、その差額を給付（調整給付）します。

給付対象者

定額減税可能額が、令和6年分推計所得税額または令和6年度分個人住民税所得割額を上回る（減税しきれない）と見込まれる納税義務者
 ※納税義務者本人の令和5年の合計所得金額が1,805万円を超える人、定額減税前で令和6年分推計所得税額と令和6年度分個人住民税所得割額の両方が非課税の人は除きます

申請期限

10月31日（木） ※当日消印有効

申請方法

対象となる人には7月下旬に確認書を送付していますので、必要事項を記入して提出してください。また、電子申請システムで申請することもできます。詳しくは、同封の文書をご覧ください。
 ※電子申請システムを利用した提出は、9月16日（月・祝）までとなります

調整給付額

①と②を合計して、1万円単位に切り上げた金額を給付します。

$$\begin{array}{|l|} \hline \text{所得税分定額減税可能額} \\ \hline 3\text{万円} \times (\text{本人} + \text{扶養親族数}) \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|l|} \hline \text{令和6年分推計所得税額} \\ \hline (\text{減税前}) \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|l|} \hline \text{所得税分控除不足額} \\ \hline \end{array} \quad \text{①}$$

$$\begin{array}{|l|} \hline \text{住民税分定額減税可能額} \\ \hline 1\text{万円} \times (\text{本人} + \text{扶養親族数}) \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|l|} \hline \text{令和6年度分個人住民税所得割額} \\ \hline (\text{減税前}) \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|l|} \hline \text{住民税分控除不足額} \\ \hline \end{array} \quad \text{②}$$

※国外居住者を除き、控除対象配偶者および16歳未満の扶養親族を含みます。6月7日時点における個人住民税の課税情報により判断します

住民税非課税世帯等給付金（1世帯10万円）を給付します

閩福祉課総合相談室（☎75-8941）



給付対象世帯

基準日（6月3日）に村上市に住民登録があり、以下のいずれかに該当する世帯
 ・令和6年度新たに住民税非課税となった世帯
 ・令和6年度新たに住民税均等割のみ課税（定額減税前）となった世帯
 ※住民税均等割が課税されている人の扶養親族のみからなる世帯などは除きます
 ※令和5年度に住民税非課税世帯給付金（7万円）または住民税均等割のみ課税世帯給付金（10万円）の給付対象となった世帯（未申請・辞退を含む）は除きます

申請期限

10月31日（木） ※当日消印有効

申請方法

給付対象と思われる世帯には7月下旬に確認書を送付していますので、必要事項を記入して提出してください。また、電子申請システムで申請することもできます。詳しくは、同封の文書をご覧ください。
 ※1月2日～6月3日までに転入・未申告の人がいる世帯で給付対象の判定ができない世帯は確認書が送付されませんので、給付対象となる世帯は申請してください。申請書の様式は、市ホームページから取得するか、福祉課および各支所地域振興課で配布しています

健診結果は体の通信簿～いつまでも健康な体を維持するために～

閩保健医療課健康支援室（☎53-3364）

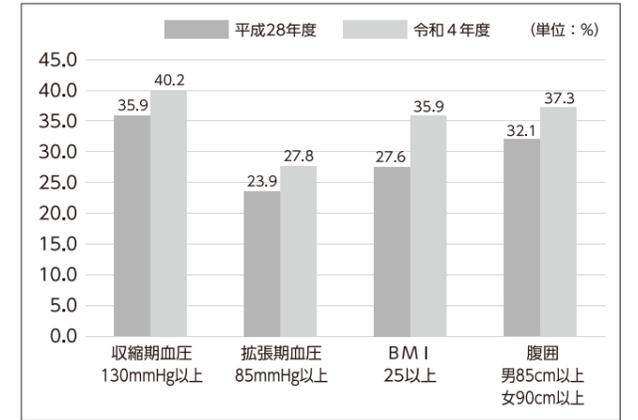
村上市国民健康保険加入者の特定健診結果について、平成28年度と令和4年度を比較すると、「血压」「BMI」「腹囲」の項目で所見のある人が増加傾向で、特に40～64歳の人の割合が増えています。（図1）これは若いうちから動脈硬化の危険があることを示しています。

健診結果には健康に過ごすヒントがあります

生活習慣病は長い年月をかけて進行して、自覚症状が現れる頃には、健康障がいを引き起こしている場合があります。
 特定健診の結果は、体の中で何が起きているか、血管や臓器を傷めていないかを知ることができる大事な「通信簿」です。お手元にある健診結果と図2を見比べて基準値から外れている場合は、生活習慣の見直しや医療機関を受診して、いつまでも健康な体を維持しましょう。

健診結果について詳しく知りたい場合は、保健医療課、各支所地域振興課までお気軽にご相談ください。

【図1】特定健診結果の比較（40～64歳）



村上市第3期国民健康保険データヘルス計画より

【図2】健診項目の説明と基準値

◆動脈硬化を起していないか確認する検査項目

検査項目	説明	基準値	
内臓脂肪の蓄積	腹囲	おなか周りで内臓脂肪の蓄積を予測します。太ると血液量が増え、心臓（圧）に負担がかかります	男性85cm未満 女性90cm未満
	中性脂肪	エネルギー源ですが、多すぎると動脈硬化を進めます	空腹時149mg/dl以下 随時174mg/dl以下
	HDLコレステロール	血管の内側に付着したコレステロールを排出します	40mg/dl以上
血管の内側の障害	収縮期血圧	心臓から全身に血液を送る時の圧力です	129mmHg以下
	拡張期血圧	血液を心臓に戻す時に血管にかかる圧力です	84mmHg以下
糖代謝異常 (インスリンの効き具合)	血糖値 (空腹時・随時)	血液中のブドウ糖の割合です。通常、糖はエネルギーに使われますが、使われないと脂肪としてたまります。内臓脂肪が多いとインスリンの効きが悪くなり、血糖値の高い状態が続きます	空腹時99mg/dl以下 随時139mg/dl以下
	HbA1c		5.5%以下
その他の動脈硬化危険因子	LDLコレステロール	増えすぎると血管の内側に付着し動脈硬化を進めますが、少なすぎても血管をもろくします	119mg/dl以下

◆臓器を傷めていないか確認する検査項目

長い年月をかけて動脈硬化が進行すると、臓器が傷んでいきます

検査項目	説明	基準値
眼底検査※	脳の血管の状態を推測します。血管を外部から見るのができる唯一の検査です	0・I
心電図検査※	心臓に流れる電気信号が正しく伝わっているか、血液が送られているかをみています	特記所見なし
eGFR※	腎臓の働きが低下していないかをみています	60ml/分/1.73m以上

※本来は医師の判断により実施する項目ですが、市では全員に実施しています